

## 内苑にも行ってみたい!

先月ご紹介した「外苑」。今月は「内苑」を大特集! 「明治神宮」の中に入るのは数十年ぶり。昔、高校受験の年の元日に友人と一緒にいき、あまりの人の多さに恐れおののき明治神宮恐怖症(大げさですね)に、それ以来の参詣です。境内には外国人観光客が多数見受けられました。その多さに警備員も禁止行為をする外国人に英語で懸命に注意していました。そして御社殿を撮影しようとした私にまで「No picture please!」と、英語で注意。仕方がないので「Sorry」と答えましたが、札幌のホテルでフランス人マネージャーから英語で朝食メニューの説明をされたことを思い出し、いったい私はどこの国の人に見えるのかとちょっと複雑な心境です。しかし、久しぶりの「明治神宮」は都会の喧騒を忘れさせてくれる癒しスポットでした!



### 「内苑」=「明治神宮」

明治神宮とは、明治45年7月30日に明治天皇、大正3年4月11日に昭憲皇太后が崩御になった際、国民から御神霊をお祀りして、御聖徳を永遠に敬い、お慕いしたいとの熱い願いが沸き上がり、大正9年11月1日(1920年)に両御祭神と特にゆかりの深い、代々木の地に御鎮座され明治神宮となりました。鬱蒼と茂った緑したたる常盤の森は、神宮御鎮座にあたり、全国から献木されたおよそ10万本を植栽した人工林です。面積は70万平方メートル、豊かな森に成長し、私たち国民の心のふるさと、憩いの場所として親しまれています。また明治神宮は、初詣の参拝者数で例年日本一の参拝者数を数える神社としても知られています。そのほか、大相撲横綱土俵入りや、こどもの祭まで幅広い祭典と行事、厄祓い、祈願を執り行っています。



原宿駅前の神宮橋を渡る



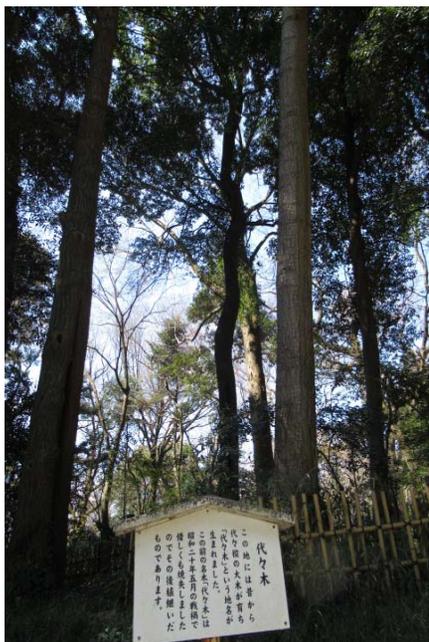
一の鳥居をくぐり南参道へ



緑豊かな南参道を進む



小さな橋が随所にあります



「代々木」地名の由来  
この地に代々縦の大木が育ち「代々木」という地名が生まれました。この縦の銘木「代々木」は昭和20年5月の戦禍で惜しくも焼失。現在の木は植え継いだ木です。



奉献清酒菰樽と奉献葡萄酒樽  
明治神宮全国酒造敬神会から献納された酒樽と葡萄酒を愛飲された明治天皇へとフランスブルゴーニュ地方の醸造元各社から献納された葡萄酒樽。その数の多さに圧倒されます。

### \* てくたく刀サッチ#70 「花みず木通り」 至10 3-18 (最終回) \*

我が国で最も充実した美しい花みず木並木です。毎年4月中旬に開花しますが、今年は既に一部咲いています。4月29日には兵庫島で恒例の「花みず木フェスティバル」も開催される予定です。花みず木の英語名は「ドッグウッド」。駅前の「ドッグウッドプラザ」の名前はここからきているのでしよう。花みず木は北アメリカ原産のミズキ科の落葉樹木で花言葉は「華やかな恋」「私の思いを受けてください」。なんとも素敵ですね。そういえば、二子玉川郵便局があったところの前にある桜が咲き始めていました。季節はすっかり春。新しい一歩が始まるワクワク感がありますね。



桜咲く



大鳥居の高さは12メートル



南玉垣鳥居



客殿



客殿の押入れの戸が懐かしい



凜とした佇まいの手水舎



手水舎には両陛下の御歌が



戦禍を逃れた南神門



菊を模した彫刻が素晴らしい



私たちが立てるのは外拝殿前



パワースポットの夫婦楠



祈願絵馬と干支絵馬



照明にも菊の御紋が



明治神宮御苑内には隔雲亭、



皇后様用の御釣台、菖蒲田、



加藤清正が掘ったと伝えられる湧水の清正井等があります



奥の芝生広場は解放感◎



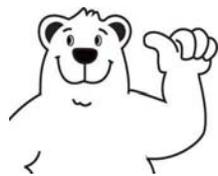
弓道の聖地「至誠館」



校倉風大床造の宝物殿



明治神宮崇敬会本部 齋館



## ご自宅まで配達します！ 2019年 アサッチのオススメ本！ 3月

「AERA with Kids 2019春号」 定価:980円(税込)

### 小学生のうちに読みたい本 158冊

本の専門家に選ばれたイチオシの本だけ集めました！  
新学期に読みたい！ AERA with Kids Book Selection  
専門家にもっとも選ばれた本はコレ！

物語／自然・科学／ノンフィクション・ほか／  
子どもにとくに人気がある本／図鑑／実用／辞書 などなど

